

NEW

福岡歯科学園広報誌

ニュー ソフィア

SOPHIA

OCT.2006

Vol.14 No.4

(第52号)

FUKUOKA SHIKAGAKUEN

CONTENTS

「特色ある大学教育支援
プログラム」に選定 — 2

〈特集〉地域貢献・連携 — 3

五大学連携懇話会 — 4

上海交通大学口腔医学院訪問 — 5

FROM PARENTS
保護者からのメッセージ — 6

FROM THE ALUMNI
ASSOCIATION
同窓会だより — 7

HI FROM CLINICS
クリニックからこんにちは — 8

SEASONAL TOPICS
歯学体夏期部門結果
サンシャインシティ・
サンシャインプラザ慰問 — 9

平成19年度入試日程
オープンキャンパス
大学院特別奨学生 — 10

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>



夜間照明の下で練習に励むラグビー部員

福岡歯科学園

平成18年度文部科学省 「特色ある大学教育支援プログラム」に選定 福岡医療短大が優れた大学教育モデル校に

平成18年度文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に福岡医療短期大学が申請した「学科間相互乗り入れ授業による口腔介護教育」が選定されました。

「特色ある大学教育支援プログラム」とは、文部科学省が平成15年度から始めた事業で、国公私立大学・短大で実施されている大学教育の改善に資する取組みのうち、特色ある優れた事例を選定し、その取組みを広く社会に情報提供することによって、高等教育の活性化を促進することを目的とするものです。平成18年度は全国から331件の申請（国立83件、公立36件、私立212件）が出され、48件が採択されました。福岡県内の短大で選定されたのは、福岡医療短期大学だけで、同短大が優れた教育実践校のモデルとして評価されました。

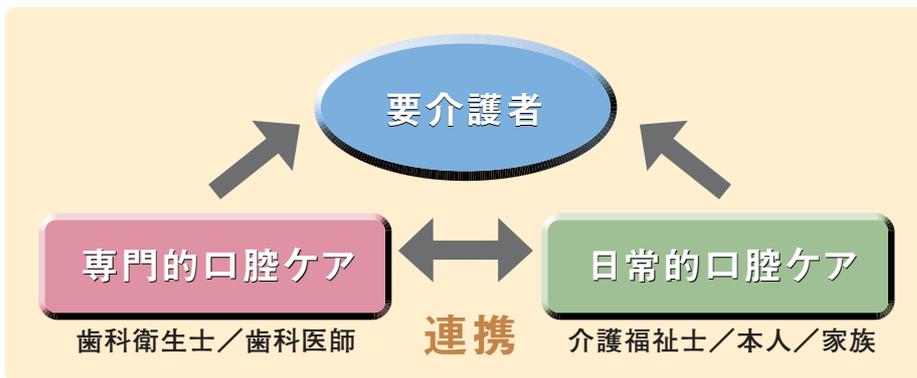
今回選定対象となったのは、同短大が提唱、実施してきた、超高齢社会のニーズである「要介護者の口腔ケア（口腔介護）」を実践できる歯科衛生士並びに介護福祉士の養成教育です。歯科衛生士養成と介護福祉士養成の2学科

併設及び2つの介護老人施設と医科歯科総合病院などの実習施設がキャンパス内に整っている特性を生かし、2学科の相互乗り入れ授業を組織的に展開する取組みです。

この取組みでは、臨地実習（施設実習）における口腔介護の実践に主眼を置き、その前段として、歯科衛生士学科では口腔介護技術のほかに全身疾患の知識や介護技術、コミュニケ

ーションの習得、保健福祉学科では摂食嚥下の知識や口腔介護技術の習得に重点をおいた教育を行っています。

今後は、蓄積されつつある口腔介護のデータベースを構築、この分野における新たな教育方法の開発や地域の介護職員等を対象に口腔介護フォーラム、研修会の開催など口腔介護の普及を推進する計画です。



口腔介護 超高齢社会では、歯科衛生士による口腔ケアだけでは、誤嚥性肺炎の予防等に十分に対応できず、介護福祉士による口腔ケアが必要となっている。



介護老人保健施設での口腔ケア



保健福祉学科の口腔介護基礎実習



健口体操

福岡歯科大学公開講座.....

お口の痛みと心の健康

平成18年度福岡歯科大学公開講座が「お口の痛みと心の健康」をメインテーマに9月9日、福岡県歯科医師会館で開催されました。今回の受講者は116名。女性、年配者の姿が目立ちました。テーマに沿って口腔外科、麻酔科ペインクリニック、心療内科の各教授が専門医の立場から講演を行った後、参加者との間で質疑応答が交わされました。参加者からは「お口、特に舌の痛み」、「痛みの解消方法」「心身症」などについて深刻な質問が相次ぎました。



◀大学公開講座



会場を沸かせた榎山さんの講演 ▶

福岡医療短期大学公開講座.....

"食べる"を考える —もう一度、食事を見直そう—

第6回福岡医療短期大学公開講座は9月10日、同短大307教室で「"食べる"を考える」をテーマに実施されました。料理研究家の榎山タミさんの「子どもたちに伝えたい和食のおいしさ」、日本マクドナルド・岩崎優部長の「マクドナルド食育の取組み」の講演に続いて、講演者を交えての総合討論が行われました。参加者は225名で「食」に対する市民の関心の高さをうかがわせ、「食育の大切さを再認識した」などの声が多く聞かれました。

特集

地域貢献・連携 ～大学が果たす第三の役割～

公開講座・生涯学習

平成18年度に開催(予定を含む)した事業概要は次のとおりです。

●「臨床セミナー」

学内外の講師による歯科医療の基礎から最新のトピックに関する臨床研修医のためのセミナー(全35回)を歯科医師等の生涯学習の一環(日本歯科医師会の生涯研修事業)として、医療関係者に公開しています。

●「出前講義」

福岡市内の公民館、小学校などを対象に、医科歯科総合病院診療科の教授、助教授等が「歯の話、お口の話、健康の話」をテーマに出前講義を実施中。本年度は市内36箇所で開催の予定です。



巻岐小学校で歯みがきを指導する馬場先生

●「公開講座」

大学は9月9日に、短大は9月10日に開催しました(詳細は、2面に掲載)。

●「健康まるごと福岡歯科学園」

10月28日～29日の両日、田の歯科祭と併せて、からだの科学展などを開催します(詳細は、この頁最下部に掲載)。昨年は約2000名が参加しました。

●「地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム」

本学、福岡大学、中村学園大学の三大学で合同開催。今回は福岡大学で11月4日に行われます(詳細は、この頁最下部に掲載)。

健康相談

●「歯の無料相談」

歯の衛生週間にちなみ、歯科医師、歯科衛生士等が市民の歯に関する悩みに答える「歯の無料相談」を開学以来、毎年行っています。本年は、6月4日に西新エルモールプラリバで開催



相談に応じる葉山先生

しました。子ども連れのお母さんや高齢者など、160名が相談に訪れました。また、福岡市等が主催する「福岡市民の歯を守る集い」には歯科医師等約10名を派遣、「歯科健康相談」コーナーを担当しました。

●「介護予防教室」

早良区保健福祉センターや近郊の社会福祉協議会、老人会等の依頼に基づき、地域の公民館や集会所において、理学療法士等が転倒骨折予防、腰痛・膝痛予防のための運動指導を行っています。また、本年10月から福岡市の委託による特定高齢者を対象にした「介護予防教室」も開設します。

●「医科・歯科・介護無料相談」

「健康まるごと福岡歯科学園」のイベント(詳細は、この頁最下部に掲載)として地域市民の健康増進を図るため、医科歯科総合病院で医科、歯科無料相談を、本学園キャンパス内の2つの介護老人施設で介護無料相談を実施します。

早良区共働モデル創造支援事業

地域の課題解決のため、福岡歯科大学の生体工学や機能構造学の先生らが原西校区と「科学教室」を、福岡医療短期大学が田村校区と「食と遊びの教室」を開いています。



小学生を指導する川口、福島の両先生

相互交流

毎年7月に開催される地元の田村新町の夏祭りに福岡歯科大学ミュージックアソシエーション部が出演し、夏祭りを盛り上げています。また、田村校区の子供会で組織する田村太鼓や次郎丸中学校吹奏楽部が本学の学園祭にゲスト出演したり、ひまわり会等の地域団体が学園祭バザーに参加するなど、相互交流を深めています。

健康まるごと福岡歯科学園

医療・保健・福祉だけでなく、より広い分野での地域貢献を果たすため「健康まるごと福岡歯科学園」が開催されます。皆さんふるってご参加ください。

日 時	平成18年10月28日(土)、29日(日) 10時から
場 所	福岡歯科大学
イ ベ ント	I 「田の歯科祭」お笑いライブ(南海キャンディーズほか)、ピンゴ大会など II 「医科・歯科無料相談」専門医があなたの疑問に答えます III 「からだの科学展」見る、聞く、体験するからだの不思議 IV 「講演会」"長距離ランナー育成と昔話に学ぶ積極的癒しの知恵" V 「介護施設見学・介護無料相談」介護の悩みはケアマネージャーまで VI 「ご用心!お口と介護」虫歯菌をやっつけろ!、手洗い体験など

問い合わせ 福岡歯科大学企画課
申し込み先 TEL 092-801-0411 FAX 092-801-3678

地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム

福岡大学、中村学園大学、福岡歯科大学が主催する地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウムが「禁煙宣言」をテーマに次のとおり福岡大学で開催されます。七隈祭を見学がてらのご参加をお勧めします。

日 時	平成18年11月4日(土) 13時から
場 所	福岡大学A棟4階401教室
講 演	I 「喫煙と心臓病」 松永 彰(福岡大学助教授) II 「喫煙と歯周病」 埴岡 隆(福岡歯科大学教授) III 「動脈硬化と食事」 津田 博子(中村学園大学教授)
特別講演	「禁煙のすすめ」 高 信太郎(漫画家)
アンサーアナライズセッション	

問い合わせ 福岡大学医学部内科学第二教室
申し込み先 TEL 092-801-1011 FAX 092-865-2692

西部地区五大学連携懇話会が発足

福岡市西部に位置する五大学(九州大学、西南学院大学、中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学)による「西部地区五大学連携懇話会」が7月24日に発足しました。同会は、五大学が長期的視野で大学間の連携や地域貢献等を行うことは、将来の大学のあり方として意義あることではないかという本学園、田中理事長の呼びかけにより、実現したものです。

今後、懇話会は定期的で開催され、五大学の理事長及び学長らが、教育・研究・地域との交流等について、意見交換等を行うこととなります。これを機に五大学間の交流が活発になり、多方面での連携が進んでいくことが期待されます。

私大協事務研修会を開催

9月14日、15日の両日、福岡ガーデンパレスにおいて、第8回日本私立大学九州支部主催事務研修会(当番大学:第一薬科大学、福岡工業大学、福岡国際大学、福岡歯科大学)は37大学から教職員合わせて75名が参加して開催されました。「真のアドミニストレータを目指して」というテーマで、「高等教育情勢と私学振興上の今日的課題について」(日本私立大学協会事務局長小出秀文氏)、「大学における個人情報保護の適正な取扱いについて」(文部科学省個人情報保護専門官 瀬戸川 浩氏)、「認証評価を受ける際の留意点について」(日本高等教育評価

機構評価事業部長 伊藤敏弘氏)の3つの基調講演のほか、認証評価を受けた大学による事例発表(福岡工業大学及び熊本学園大学)が行われました。特に全ての大学が受けることになる認証評価に関する講演、事例発表では、参加者の多くが熱心にメモをとっていました。



熱心にメモをとる参加者

認証評価機関による実地調査

2003年学校教育法改正により、すべての大学、短大は教育研究水準の向上に資するため、平成16年4月から、7年以内ごとに文部科学大臣が認証した評価機関による評価(認証評価)を受けることが義務付けられました。

福岡歯科大学は、今年度、日本高等教育評価機構と大学基準協会の二つの認証評価機関による認証評価

を受けることになりました。この評価は、書面調査と実地調査がおこなわれますが、このうち、日本高等教育評価機構による実地調査は9月26日から28日まで3日間行われ、大学基準協会による実地視察は10月19日に行われました。

評価結果は、いずれも来年3月中に公表される予定です。

平成19年度臨床研修歯科医師の採用試験

歯科医師臨床研修マッチングプログラムに基づき、平成19年度に福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床研修プログラムを希望する者への採用試験が、8月17日に福岡歯科大学本館講義室等で行われ、研修希望

者155名は緊張の面持ちで試験に臨んでいました。この試験による選考結果は、10月17日までに管理型臨床研修施設および希望者による希望順位表登録を終え、10月31日午後2時に結果が発表されます。



面接試験に臨む研修希望者



試験開始の合図を待つ研修希望者たち

新教授紹介

うめづ けいこ
梅津 桂子 教授

機能生物化学講座
生化学分野



略歴

九州大学歯学部卒。同大学院歯学研究科博士課程修了。ハーバード大学医学部博士研究員、奈良先端科学技術大学院大学助手を経て、本年9月福岡歯科大学教授に就任。歯学博士。福岡県出身。

抱負

生化学は診断や治療に必要な知識の基盤となるものです。医療の進歩に対応できる理解力の育成を目指します。学生さん達に、知ることや学ぶことの楽しさや喜びを伝えたいと思っています。

はやかわ ひろし
早川 浩 教授

機能生物化学講座
生化学分野



略歴

宮崎大学農学部獣医学科卒。九州大学大学院理学研究科博士課程中退。九州大学医学部助手、九州大学大学院医学研究科医化学教室助手を経て、本年9月福岡歯科大学教授に就任。熊本県出身。

抱負

判り易い授業と、少しばかりの最先端の研究も学生の皆さんに紹介したいと思っています。何故なら科学は本質的に既存の知識を批判的に再構築することによって進歩するもので、最先端の研究はそのよい例だからです。

まつや しげき
松家 茂樹 教授

歯科医療工学講座
生体工学分野



略歴

九州工業大学卒。九州大学大学院工学研究科修士課程応用化学専攻修了。九州大学歯学部助手、同大学院助教授を経て、本年9月福岡歯科大学教授に就任。歯学博士。福岡県出身。

抱負

歯科・生体材料は歯科治療には不可欠であり、歯科理工学は臨床に密接に関連した学問です。治療の基礎は種々の歯科材料に関する正確な知識と理解にあります。このことを念頭にわかりやすい教育・研究を行いたいと思います。

12月10日に福岡歯科大学学会総会

12月10日(土)、第33回福岡歯科大学学会総会(学会長:本川 涉教授)が福岡県歯科医師会館大ホールで開催されます。シンポジウム「患者が求める歯科医療」のほか、一般口演やポスター発表が行われます。

◆シンポジウム「患者が求める歯科医療」

モデレーター:高橋 裕 先生

1) 患者様の希望と歯科医師の願望の狭間

東京都開業 中川 孝男 先生

2) 当院における予防への取り組み

大阪府開業 尾川 善信 先生

3) インプラント治療への誘い ~より効果的なインプラントの応用を目指して!~

北九州市開業 上田 秀朗 先生

4) 可撤式義歯症例の考え方

下関市開業 大村 祐進 先生

5) 審美歯科の基本的な考え方 ~海外の審美歯科と比較して~

福岡歯科大学冠橋義歯学分野講師 松永 興昌 先生

6) 質疑応答

※会費は無料、問い合わせは、

学会事務局 092-801-0411(内線654)

e-mail:gakkai@college.fdcnet.ac.jp

第1回上海交通大学口腔医学院研修派遣団が訪中

咬合修復学講座・有床義歯学分野 高橋 裕(教授)

平成18年7月30日(日)～8月6日(日)の間、6年生3名(坂本佳名子、水町栄美理、向井知理)と教職員3名(高橋 裕団長、長 環助教、石橋慶憲庶務係長)は、姉妹校である上海交通大学口腔医学院(中国、上海市)を訪問し、38℃を越す猛暑の中、学生交流、教員の教育研究交流、事務レベルでの大学間交流を行いました。

7月31日(月)朝、上海交通大学口腔医学院において我々6名のために張志願口腔医学院長、簡光澤党書記、張建中副院長など11名が出席され、約1時間歓迎セレモニーが行われました。その後、上海交通大学附属第九人民医院、口腔医学院、口腔医学研究所の見学を行いました。夜には歓迎会が行われ、主だった教授のみならず今春本学を訪れた教授や学生、事務の方々も集まって頂き、まさに熱烈歓迎を受けました。

翌日からは、6名別々に研修を行いました。3名の学生は、第九人民医院の口腔外科、歯科補綴科、歯科保存科に分かれて病院研修を行いました。学生たちは、先生方から学ぶだけでなく、多くの学生とも色々な話しをし、両国、両校の情報交換を行っていました。初めは英語で話していた学生たちも、次第に、中国語、日本語、最後は上海語も交えて会話をし、学生間の国際交流としての立派な使命を果たしていました。

私と長先生は、口腔医学院で講演を行い、本学での研究成果を発表しました。その後は、口腔修復科と微生物学研究室に分かれ、両校の教育や研究に関する情報交換、共同研究の打

ち合わせなどを行いました。石橋さんは、口腔医学院の事務官と、大学の組織やカリキュラム等の教育体制について情報交換を行いました。

今回の訪問で一番感じたことは、上海交通大学口腔医学院の学生は高い目標を持ち何事にも目的意識を持って勉学に励み、教職員はとてもしっかりと仕事をしていることでした。

今回、上海交通大学口腔医学院の先生方、学生さん、事務の方たちと交友関係を深めることができ、また、各自の目的を達成することができました。この訪問が、今後の両校の友好の架け橋になれば幸いです。



上海風景(夜景)



全員で記念写真



来福した中国の学生と一緒に病院を見学する本学の学生たち



張口腔医学院長と記念品交換する高橋 裕団長(右)



講演後、張副院長から感謝状を受け、握手する長環先生(右)

海外研修派遣

【福岡歯科大学】

所属分野	職名	氏名	研修課題	派遣先	派遣期間
口腔インプラント学	教授 助教	松浦正朗 城戸寛史	第5回北京日中口腔インプラントセミナーへの出席と講演のため	北京 (中国)	自:H18.8.24 至:H18.8.28
冠橋義歯学	講師	松永興昌			
冠橋義歯学	助教	松浦尚志	1.ノースカロライナ大学歯学研究所コラーゲン生化学研究室山内三男教授とインプラント-骨界面構造の形成と維持のメカニズムについての研究打合せのため 2.第28回アメリカ骨代謝学会にて発表のため	チャペルヒル フィラデルフィア (アメリカ)	自:H18.9.10 至:H18.9.19
細胞生理学	助手	福島秀文	第28回アメリカ骨代謝学会にて発表のため	フィラデルフィア (アメリカ)	自:H18.9.14 至:H18.9.20
歯周病学	助手	天野めぐみ	第92回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会にて発表のため	サンディエゴ (アメリカ)	自:H18.9.15 至:H18.9.22
総合歯科学	講師	内藤徹	第14回コクラン・コロキウム会議出席のため	ダブリン (アイルランド共和国)	自:H18.10.21 至:H18.10.27

【福岡医療短期大学】

所属分野	職名	氏名	研修課題	派遣先	派遣期間
歯科衛生学科	教授	金子憲章	歯科衛生学科 国際交流推進のため(アメリカ研修)	ロスアンゼルス (アメリカ)	自:H.18.9.16 至:H.18.9.30
歯科衛生学科	教授 助教 助手	緒方稔泰 廣瀬武尚 貴島正子	歯科衛生学科 国際交流推進のため(姉妹校東釜山大学訪問)	釜山 (韓国)	自:H.18.9.20 至:H.18.9.22

保護者からのメッセージ FROM PARENTS



吉元 辰二 = 文
福岡歯科大学

「講義」

大学を卒業して29年、歯科医院を開業して23年の今「保護者からのメッセージ」投稿の機会を得ましたことに感謝しながら、自分の学生時代を懐かしく思い起こしています。

父も歯科医師で開業していましたので、父の背中をみながら育ち、子どもながらに歯科医師は患者様から感謝され尊敬されている職業なのだと思います、歯科医師を志しました。

しかし、大学時代はクラブ活動に熱中し、先輩後輩にも恵まれ楽しい大学時代を送りましたが、本業というべき講義はおろそかにしていたように思います。何も将来の事も考えないで学生というルールの上をただ楽しく走って、やがて歯科医師になってそのルールがはずされ、「自分はこれから何をすればいいの?」「治療できるの?」「親に頼りっきりだった自分は「どう自立し、生計をたてようか?」と、自信が持てないのです。はた

と困りました。社会に認めてもらえる歯科医師になることはだれでもあたりまえになれるのだと思っていた自分の勉強不足だった甘さに気づき、その後自信がつくまでにずいぶん苦労しました。

今、専門学校での講義を受け持ちながら思う事は、講師は必ず講義の中で学生さんたちにこれは教えておきたい、伝えておきたいと思うことが多々あります。それを学ぶことのできる学生さんたちは幸せであり、それを素直に受け止めて欲しいと思います。講義をおろそかにすることが親に対して不遜であったと今さらながら後悔しています。

国家試験も厳しくなりました。社会に認められる自信ある歯科医師になるために、積極的に講義を受講し、日々の学生(青春)時代を大いに楽しんで欲しいと思います。



坂本 文比古 = 文
福岡歯科大学

「気高く前に進む」

昔、私が九州歯科大学に入学した時母がつくづく言ったものだ。「これでもう一生食べるのに困る事はない。親の責任を果たす事が出来て幸せだ。」と。それを聞いた私は洋々たる明るい未来を夢見たものでした。

それから30数年、大学院、そして開業と過ごして来て今程重い気持ちを感じることはありません。10年ひと昔と云うけれどこれ程までの大きな変化を身近に感じ、いったいどうなっているのかと疑うのは私だけだろうか。少しでも気を許すと生活に窮するという話はいたる所で聞くのです。

そのような時代に、いみじくも長女は6年生。まわりの皆様には大変お世話になり心より感謝をしています。けれど彼女がこれからどの様な人生を歩むかは親として無責任かも知れないけれど全くわからない。ただ毎日娘と接して思う事は、福岡歯科大学に在籍させて頂いてよかったと云うことです。毎日夜遅くまで大学にいるなど今までこんなに勉強している姿は見た事があり

ませんでした。話をしてもいかに職業的使命感に燃えているのかがよくわかります。まわりの同級生にもかなり刺激を受けているようです。いろいろな話を聞くにつれ、大学の方々の前向きな取り組みに対しこれからの歯科医療のあり方に一開業医としても一節の光を感じますし、娘は娘なりに職業感を醸成させているようです。

これからある意味、歯科医は困難な時期を越えねばならないとは思いますが、その先にある明るい未来を模索しつつ、一つ一つゆるみない努力を重ねていくことが大事だと思っています。

人間の幸せは心と環境との平和な関係の結果だそうです。愚痴を言ったり罵ったりすることはやめ、強く高い思いをめぐらすことによって自分自身を強化する事が大事だと聞いています。

苦しいこと辛いことを悩む前に、何が何でも一歩前にという気概を持って突き進んでいって欲しいと願っています。

福岡歯科大学父兄後援会支部懇談会

平成18年度福岡歯科大学父兄後援会支部懇談会が、7月29日から8月20日にかけて全国17会場において順次開催されました。各支部の定期総会の後、大学からの現状報告、続いて教員と父兄の個別面談が行われました。各支部から提出された意見・要望は、10月14日開催の父兄後援会・大学の報告・説明会で協議されました。



8月20日開催の広島県・山陰・岡山県合同支部懇談会

短大・保健福祉学科実習報告会

7月14日、福岡医療短期大学305教室で保健福祉学科2年生の実習報告会が行われました。報告者は、担当した入所者の方が自分の作ったケアプランにより病状が改善されたことやその経緯、コミュニケーションの重要性を実感したこと等を報告しました。



質問に答える実習報告者

短大・保健福祉学科、地下鉄乗車マナーキャンペーンに参加

7月12日、福岡医療短期大学保健福祉学科2年生5名(福永健治君・和田大樹君・眞鍋晃一郎君・西嶋香君・小林美紗君)が福岡市営地下鉄七隈線次郎丸駅で乗車マナー向上キャンペーンに参加しました。参加者は、駅職員と一緒に足早に出勤先や学校等に向かう利用者へ市の交通局が用意した蛍光ペンを配りながら、乗車マナーの向上を呼びかけました。



乗車マナー向上キャンペーンに参加した学生

短大・歯科衛生学科口腔衛生指導

6月12日から6月29日にかけて、福岡医療短期大学歯科衛生学科の学生が市内の原西小学校等(13校)を訪問し、ブラッシング指導等の集団口腔衛生指導を行いました。学生達は、絵や図を使って歯を磨くことの大切さを伝え、子供達に実際に歯ブラシを持たせて正しい歯の磨き方を教えました。



歯の磨き方を指導する実習生

From The Alumni Association

同窓会だより

■ 山口県支部(長州歯会)主催・学術講演会報告

平成18年6月17日に、福岡歯科大学同窓会山口県支部(長州歯会)主催の学術講演会が、防長苑(山口市)にて開催されました。

歯科臨床におけるMRIの応用という演題で、本年3月に母校の診断・全身管理学講座 画像診断学分野(旧歯科放射線学講座)助教授を退官された和田忠子先生の御講演でした。MRIの原理～画像が出来るまでを説明された後に、MRIの特徴(MRIの利点、欠点)、頭頸部正常組織の信号強度による比較、病理組織の信号強度による比較について解説されました。その後、上顎洞炎、血管腫、咬筋肥大症、上顎悪性腫瘍、多形性腺腫、ガマ腫、類皮嚢胞、歯肉癌、舌癌、シェーグレン症候群

等の各症例でのMRI像の特徴を解説され、最後に歯科臨床で有用とされる顎関節症への応用について、顎関節の解剖学的特徴と顎関節症における関節円板の変化、顎関節症におけるMRI像の特徴について教えていただきました。

MRIが実用化され使用されるようになってまだ歴史は浅く、私の学生時代にはMRIという言葉すら存在しませんでした。その後、私自身も大学病院の口腔外科に10年ほど勤務しましたが、その10年間に一度もMRI画像を目にすることはありませんでした。ところがこの十数年間の画像診断の進歩は著しいものがあり、身近でMRIを受けることが可能になっています。

今回の和田先生の御講演は、X線(CT)とMRIの区別もつけられなかった我々アナログ世代の卒業生にとっては、本当に目から鱗が落ちる思いでした。

田辺 均(2期)



平成18年度 長州歯会総会

■ 大阪府支部設立10周年記念懇親会を終えて

7月15日(土)スイスホテルにおいて、青野福岡歯科学園常務理事・本田福岡歯科大学長・成瀬名誉教授・宮口本部同窓会会長・下村大阪府歯科医師会副会長・近森大阪府歯科医師会常務理事他多数の来賓の先生方をお迎えし、標記懇親会を行いました。

青野・本田先生より大学の近況、宮口先生より同窓会の近況報告、下村先生より祝辞をいただき、康松本歯科大学校友会大阪府支部会長の乾杯のご発声後、祝宴となり、旧交をあたためました。あっという間に閉会となり、三三五五二次会のため夜の巷へとくだりていかれました。

近畿支部より独立しましたが、近畿二府四県の同窓の先生方とは、年二回近畿ブロック連絡協議会を開き、各支部の近況報告・活動報告を行うなど、非常に良い関係を築いております。

また昨年度より近畿にゆかりのある退官された教授を講師にお招きし(昨年度は羽生名誉教授)近畿ブロック学術講演会を開催いたしました。年々卒業生もへり、新入会員も2、3人と寂しさも感じますが、同窓会会員の皆様にも少しでも会に参加していただき、楽しく、また、スキルアップしていただけるようにしていきたいと考えております。

最後になりましたが、今回原稿執筆依頼をうけ、このような機会をいただいたことに感謝いたします。

石上 正明(8期)



歓談中の来賓の皆様

卒業生トーク 「夢」 有馬 純治(4期)



開業して早や22年、随分永く歯科医療に携わってきたものだと思います。しかし、自分の本業以上に永く携わっている事があります。

それが、「ラグビー」です。

高校時代に友人に誘われてラグビーに触れて以来、随分と年月が経ったものです。

思い起こせば、今も付き合っている仲間の殆どは、高校・大学・社会人とラグビーを通じて知り合った奴ばかりであり、皆、気のいい奴ばかりです。大学を卒業して、社会人チームでプレイをし、楽しい思い出、苦しい思い出も沢山できました。鹿児島県代表の主将としてもコーチとしても、何度か国体にも出場させてもらいました。楽しい思い出です。

アキレス腱を切ったり、頸椎を痛めたり、骨折したり、数え切れない程の怪我もしました。また、グラウンドで走り回るのを夢みて、その後待っている、苦しいリハビリにも耐えてきました。苦しい思い出です。今では、そのすべてが、美しい思い出でもあります。それが

「楽苦美」というスポーツの持つ魔力ではないでしょうか。

6年程前に、本業の方で、もっと世界の歯科医療をみたいと思い立ち、約2年間、オーストラリアで語学を学び、米国UCLAの口腔外科・インプラント科に2年間留学をしました。オーストラリアでは、世界トップレベルのラグビーを学ぶ事もでき、アメリカ・オーストラリアでもラグビーを通して沢山の友もできました。今、思うとラグビーによって助けられ、又、生かされてきたな〜とつくづく思います。

今からラグビーに対してできる恩返しは何かと考えた時、もっとラグビーを沢山のの人に親しんでもらう事ではないかと思ひ、近くに土地を購入し、ラグビー場と少年ラグビーチームをつくりました。ここで沢山の子ども達の笑い声を聞きながら、いつの日かその子供達の中から世界で通用するようなプレイヤーが出てくれる事が私の夢です。



夜間照明付ラグビー場

矯正歯科への思い



私の診療室では少子高齢化社会の到来と共に以前に比べ30才～50才代の患者さんの占める割合が増えてきました。それに伴い患者さんの矯正治療に対する要求も変化し、また、私自身の矯正治療に対する考えも変わってきました。以前は、患者さんの要求も私の矯正治療の目的も形態(つまり見かけ)の変化に重きを置いていましたが、現在では如何に長く、つまり“高齢になるまで自分の歯で咬めるようにするか”と言う咀嚼機能の維持を最重要視するようになりました。できる限り処置歯や失活歯を抜歯し、健全歯で正常な咬合を作り上げ、“一生自分の歯で食べていけるようにすること”が私の矯正治療の第一目標になってきたのです。これは、決して形態を軽視しているというのではなく、正常な形態(咬合)を作ることが正常な機能を営むには必要であり、正常な機能を営むことが、また正常な形態を維持することになる。つまり、形態と機能は表裏一体で、どちらも正常でなければ正常な状態を長く維持することはできないということです。

矯正治療は、歯並びが気になる人だけが受ける特殊な治療とまだまだ一般的には思われがちです。しかし私は、矯正治療は咀嚼機能を改善し長期間維持させるための歯科治療の方法の一つで、悪い歯が有れば治療する一般歯科の治療と同様に歯並びが悪ければ誰もが受けるべき治療だと信じています。そして、一生自分の歯で物が食べられることで、本当に健康で長寿を全うできる社会の実現に矯正治療が貢献できることを願っています。

医療法人ハート 樋口矯正歯科クリニック(福岡市)

河合 悟(5期) = 文

写真上=クリニック入口から見る待合室
 写真下=スタッフと一緒に(前列左が私)



良き仲間



私は平成12年に福岡歯科大学を卒業しました。卒後は近隣の福岡大学医学部歯科口腔外科学講座に入局しました。都温彦前教授、喜久田利弘教授のもと、全身管理や口腔外科を中心に指導を受けました。歯科大学とは違ったバリエーションのある様々な疾患を診ることができました。医者サイドからみる口腔疾患、総合病院における口腔医としての経験は貴重なものでした。同医局はいろんな大学出身者が在籍しており、様々な大学の先輩や後輩をつくることができました。そんな中でもやはり福歯大出身の先輩によく面倒をみてもらいました。時折、母校の口腔病理学教室にプレバレートをもって伺ったりもしました。硬式野球部部長である岡村和彦助教教授がいろいろと親身に教えてくださいました。大変感謝しています。

学生時代は硬式野球部に所属していました。オールデンタルやリーグ戦などはほぼ1年間野球ばかりでしたがそのチームメイトは今でも良き仲間として交友を持っています。歯科医師会においても野球部OBの先生のつながりで野球チームに入りました。

卒業して7年を経過して、生まれ育った福岡県嘉麻市で今年6月に開業しました。開業の準備では、野球部の先輩の先生や勉強会の先生方にいろいろと助言をいただきました。特に勉強会のディレクターである田中秀樹先生からは治療に関してだけでなく、経営的なものやまたプライベートにいたるまで本当にお世話になり感謝しています。いろいろな方々の支えて開業できたと思います。

これからは、歯科衛生士1名、歯科技工士1名、歯科助手2名のスタッフと良きチームワークを築き院長として誠心誠意頑張っていきたいと思っています。開業後も全身の中の1口腔としての診療を行うよう心掛けていきたいと思っています。益々、歯科医療の発展に励み地域医療に貢献できたらと思っています。

てしま歯科クリニック(福岡県嘉麻市)

手島 将(22期) = 文

写真上=てしま歯科クリニック外観
 写真下=スタッフと一緒に(中央が私)



歯 学 体 夏 期 部 門 結 果

参加クラブ名	順位
バレーボール	3位
バスケットボール	3位
剣道	3位
空手道	4位
弓道	8位
ヨット	9位
サッカー	9位
硬式庭球	11位
バドミントン	16位
硬式野球	一回戦敗退
柔道	予選敗退
水泳	順位確定外
ゴルフ	順位確定外
ボウリング	順位確定外
ボクシング(オープン競技)	優勝
サーフィン(医科・歯科大会)	順位確定外
ラグビーフットボール	一回戦敗退

第38回全日本歯科学生総合体育大会(事務主管・日本大学松戸歯学部)の夏期部門が7月29日から8月11日にかけて東京都や千葉県を中心に開催されました。今年は、バレーボール、バスケットボール、剣道が3位入賞を果たすなど好成績を収め、参加校29校中、本学の総合順位は12位でした。

各クラブの成績は次のとおりです。



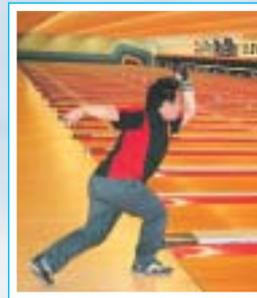
女子バスケットボール



男子バレーボール



女子バレーボール



ボウリング



剣道



弓道



男子バスケットボール



ゴルフ



硬式野球

学友会主催による、シティ・プラザ慰問

8月23日、福岡歯科大学学友会は介護老人保健施設 サンシャインシティ、介護老人福祉施設 サンシャインプラザを慰問しました。メンバー(ミュージックアソシエーションクラブ、ESS等)は、歌や日本舞踊を披露し、入所者と一緒に楽しい時間を過ごしました。



歌を披露する学友会メンバー

オムニコート、夜間照明装置を整備

学生の課外活動の活性化を図るため、8月、テニスコートのうち2面がオムニコートに改修されるとともに、同コート及びラグビー場、サッカー場には待望の夜間照明装置が設置されました。

今回の整備に際しては、ラグビー、サッカー、テニス及び野球部の各OB会から、多大のご支援、ご協力をいただいています。



夜間照明の下、練習するテニス部員

平成19年度入学試験日程

福岡歯科大学 歯学部					福岡歯科大学大学院 歯科研究科
区分	推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	二次募集
募集人員	約30名	約46名	約10名	約10名	18名
出願受付期間	H18.11.1(水)-11.9(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.1.22(月)-2.13(火)	H19.2.13(火)-3.6(火)	H19年1.29(月)-2.16(金)
試験日	11月11日(土)	2月1日(木)	2月17日(土)	3月8日(木)	2月22日(木)
合格発表日	11月16日(木)	2月7日(水)	2月21日(水)	3月14日(水)	3月7日(水)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp				

福岡医療短期大学・歯科衛生学科					
区分	推薦入試	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	20名	15名	5名	若干名	40名
出願受付期間	H18.11.1(水)-11.9(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月11日(土)	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(水)	
合格発表日	11月17日(金)	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp				

福岡医療短期大学・保健福祉学科								
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	15名	10名	5名	10名	若干名	若干名	若干名	20名
出願受付期間	H18.11.1(水)-11.9(木)	H18.11.1(水)-11.9(木)	H18.12.4(月)-12.14(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	H19.3.16(金)-3.24(土)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月11日(土)	11月11日(土)	12月16日(土)	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(水)	3月26日(月)	
合格発表日	11月17日(金)	11月17日(金)	12月21日(木)	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	3月27日(火)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							

オープンキャンパス

受験希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に、福岡歯科大学・福岡医療短期大学で「オープンキャンパス」が開催されました。大学では、石川教授(矯正歯科学分野)による模擬授業や教員や在校生を交えた昼食会が行われ、短大では車椅子体験や歯科診療実習室見学などが実施されました。



(大学:石川教授による模擬授業)



(短大・保健福祉学科:在校生と一緒に手話ソング)



(短大・歯科衛生学科:歯科診療実習を見学)

平成18年度大学院特別奨学生等を決定

◇福岡歯科大学大学院特別奨学生(修学資金として毎月16万円を支給)として下記の10名を決定しました。

- 第4学年 岡松 加恵 (口腔インプラント学)
- 第4学年 津江 文武 (有床義歯学)
- 第4学年 秦 雄一郎 (矯正歯科学)
- 第3学年 岩橋 輝明 (口腔腫瘍学)
- 第3学年 大櫛 幸子 (矯正歯科学)
- 第3学年 森 永健三 (口腔インプラント学)
- 第2学年 植木 猛士 (矯正歯科学)
- 第2学年 吉田 智治 (矯正歯科学)
- 第1学年 井上知加子 (矯正歯科学)
- 第1学年 長谷川 綾 (矯正歯科学)

◇福岡歯科大学大学院の平成18年度RA(リサーチアシスタント)及びTA(ティーチングアシスタント)が次のとおり採用されました。(手当として年額27万円を支給)

- RA
- 第4学年 岡松 加恵 (口腔インプラント学)
- 第4学年 小袋 基史 (有床義歯学)
- 第4学年 何 陽介 (成育小児歯科学)
- 第4学年 片淵 三千綱 (冠橋義歯学)
- 第4学年 津江 文武 (有床義歯学)
- 第4学年 成富 雅則 (矯正歯科学)
- 第4学年 野口 晴加 (歯周病学)
- 第4学年 秦 雄一郎 (矯正歯科学)
- 第4学年 笹本 実 (歯周病学)
- 第2学年 植木 猛士 (矯正歯科学)
- 第2学年 吉田 智治 (矯正歯科学)
- 第1学年 井上知加子 (矯正歯科学)
- 第1学年 岩澤 佳奈 (矯正歯科学)
- 第1学年 長谷川 綾 (矯正歯科学)
- 第1学年 松本 典祥 (歯科保存学)
- 第1学年 向坊 友宏 (矯正歯科学)

◇福岡歯科大学大学院奨学生(授業料相当額70万円を奨学金として支給)として次の7名を決定しました。

- 第4学年 小袋 基史 (有床義歯学)
- 第4学年 成富 雅則 (矯正歯科学)
- 第4学年 笹本 実 (歯周病学)
- 第3学年 徳富 健太郎 (冠橋義歯学)
- 第3学年 中尾 彰宏 (口腔腫瘍学)
- 第3学年 福成 史子 (画像診断学)
- 第1学年 岩澤 佳奈 (矯正歯科学)

- TA
- 第3学年 岩橋 輝明 (口腔腫瘍学)
- 第3学年 大櫛 幸子 (矯正歯科学)
- 第3学年 崔 旭鎮 (矯正歯科学)
- 第3学年 徳富 健太郎 (冠橋義歯学)
- 第3学年 中尾 彰宏 (口腔腫瘍学)
- 第3学年 福成 史子 (画像診断学)
- 第3学年 森 永健三 (口腔インプラント学)
- 第3学年 大森美和子 (画像診断学)

